

賞味期限切れの冷凍保存の低たんぱくパンの提供について

当院入院中の患者様への病院給食で、7月29日（火）昼に低たんぱく食を提供した5名のうち、3名に賞味期限が切れた冷凍保存の低たんぱくパン（賞味期限：2025年3月30日）を配膳したことが判明しました。その後の調査で、4月以降、賞味期限切れの冷凍保存の低たんぱくパンを提供した可能性のある患者様は20名いらっしゃいますが、8月31日時点で、患者様の健康被害の報告はありません。

この度は、患者様をはじめご家族、関係者の皆様にご迷惑とご心配をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。

1. 経過

- ・7月29日、患者様より、昼食の低たんぱくパンの賞味期限が過ぎていたと昼食を食べられた後に御指摘があり、病棟看護師が栄養管理室に報告して発覚しました。
- ・管理栄養士が提供した入院患者様のもとへ伺って謝罪し、体調に変化があったときなどは申し出ていただくよう説明しました。
- ・2025年4月以降、賞味期限切れのパンを提供した可能性のある患者様に電話等で連絡し、15名の方へ謝罪と健康状況の確認を行いました。
- ・在庫食品すべての賞味期限及び消費期限を確認しました。
- ・7月31日、所管の渋川保健所へ電話にて報告し、今後の対応について指導いただきました。また、体調不良者が確認できていない現時点では報告書の提出は不要とのことでした。

2. 原因

賞味期限切れの食品が提供された原因について、在庫食品の管理が徹底できていなかったことが第一に挙げられます。その他、配膳前の賞味期限・消費期限確認ルールが不十分であったことが考えられました。

3. 再発防止策

- 1) 食品の保管管理や賞味期限・消費期限の確認作業について、手順書や記録表を改正し、確認・記録を行う。
- 2) 配膳前（特に食品を冷凍庫や食品庫から持ち出す時点）に賞味期限・消費期限を確認するルールを遵守する。

今後も、食品の在庫管理、賞味期限・消費期限の確認を徹底し、安心・安全な病院を目指して再発防止に努めます。

独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 院長 高橋章夫

問い合わせ先：独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 管理課長
電話番号 病院代表 0279-23-1010